

自ら授けた

淫

絞

の力でメスに

堕とされてしまう

女



神

を……？
な、何が起き……

わ私の魔力が
負けた……？
一人の人間に……？

そ、そんな
馬鹿な事が……

おッ！？
おッ！
おッ！

だぶっ！

おちっ！

バタ……
びくっ！

ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！

トシャッ！
トシャッ！
トシャッ！

ボウ……





あ頭が痺れて♡♡
何も考えられない♡♡

まにこ
グッ♡♡



イグ♡イツてる♡
印にイカされる♡

淫らな思考で♡頭が♡
埋め尽くされて♡♡



な、なんて嬉しい…♡
いいやつ 気を確かに
持つのです

どきっ♡

まずはこの場を
どうにか…!!



お落ち着きなさい
わかりました

どき♡

ちゅ…

どき♡

わ私が口で
鎮めて
差し上げますから…



か
し

お
び
ッ

むえ?

ず
ぶ
ッ
ぢ
ち♡

ぢ
ち♡
か

の
の
ッ
の
ど
ッ
♡♡♡

お
レ

ノド奥♡♡♡
きちぎち♡♡♡

びん♡

びん♡

詰まっ…♡♡♡
い…
息がッ…♡♡♡



びん♡



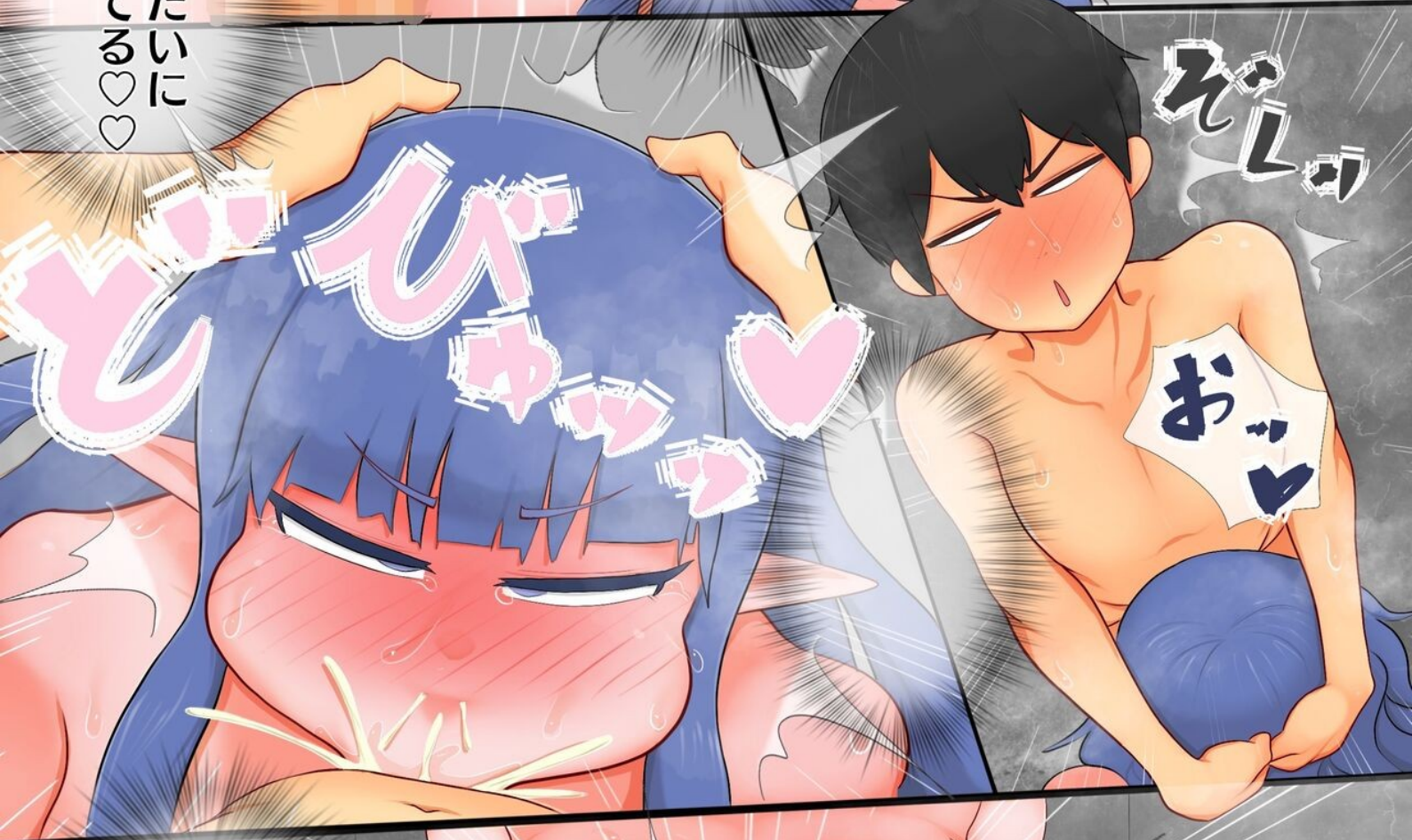
じゃぼッ♡

ノドまんこッ♡♡
乱暴に♡♡

じゃぼッ♡

じゃぼッ♡

モノみたいに使われてる♡♡



ズッ♡

おっ♡

じゃぼッ♡



かっ♡

ふっ♡

かっ♡

意識♡♡♡♡
トッ♡

おッ♡♡♡
射精来てる♡♡

びゅん♡

びゅん♡
ごぼ♡

ノド奥♡♡
ビタビタ
叩かれてる♡♡

濃い精液でッ
印がつ
反応してる♡

しかし…一旦精を
吐き出させました…
これで…
少しは鎮静を…

ふし♡

♡♡
が♡

げ♡
は♡

ご♡

う、うそ……

ビキッレ

ビキッレ

今の内に
印の解呪を
しなければ……！
今ならばまだ……

更に遅しく
凶悪に……♡
ま、まずい……！





おっ

だっ じゅにっ

だっ じゅにっ

ハッ ン

ぎゅ

おっ

ちっ♡ちくび♡♡♡♡ダメ♡♡♡♡
ちくび弱いから♡♡ダメなの♡♡♡♡
おっ集中♡♡♡出来ない♡♡♡♡♡

本能でメスの弱点
見抜いてる♡♡
弱いところ
完全にバレてる♡♡♡



だ、ダメ♡♡♡
そこだけは♡♡♡
女神の…ッ

ずいっ♡



おッッ♡♡
そこ…ッ♡♡

にゅにゅにゅ

がッ♡

ぱ

ん♡♡

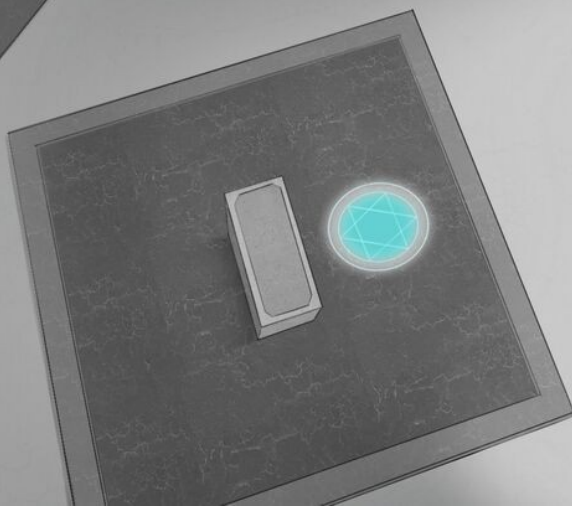
あッ♡
いねん♡
おん♡

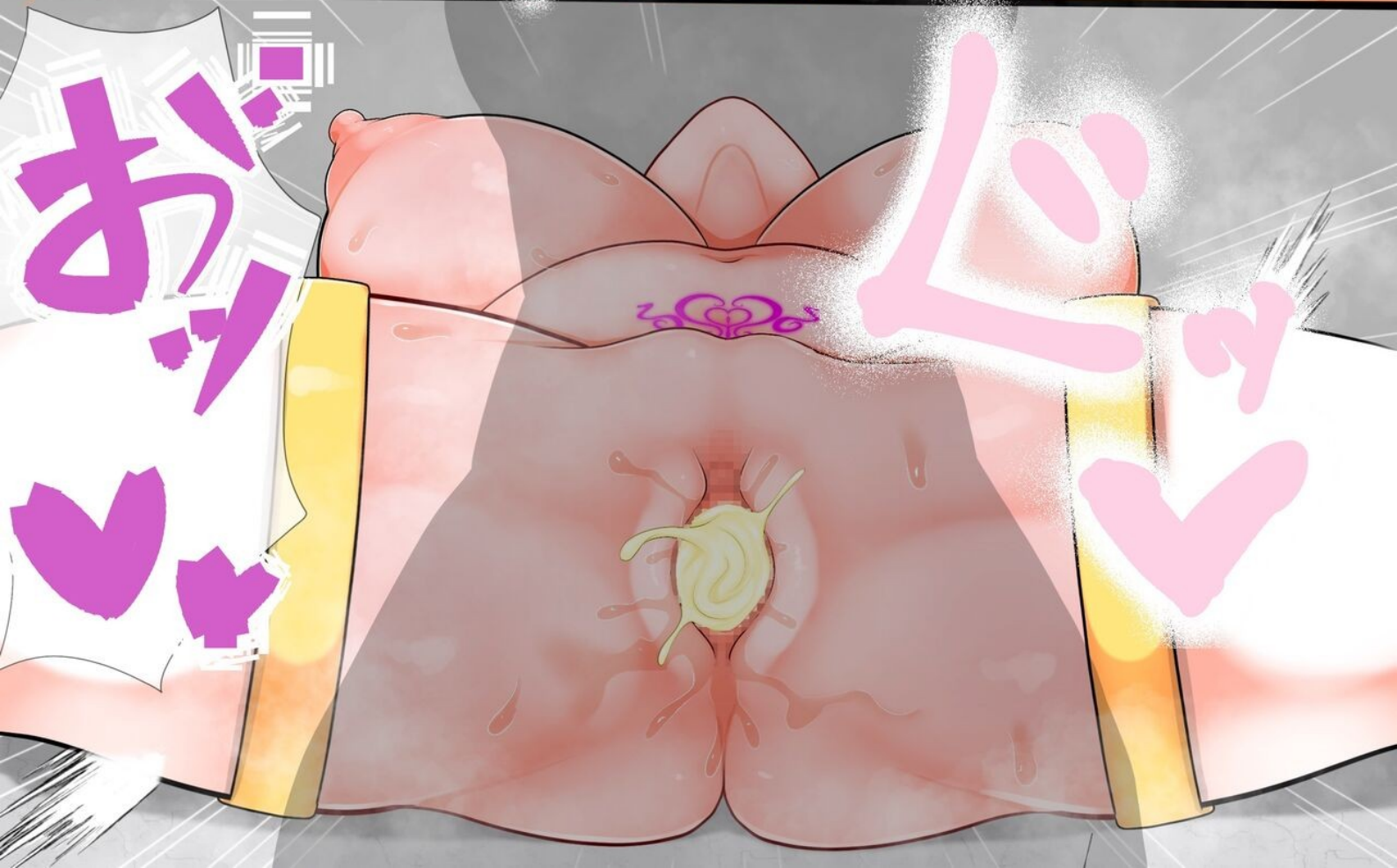
魔王の束ねる魔物達に苦しむ民を救う為
年端も行かぬ少年が碌な装備も無く
魔王城へ単身乗り込み
誰もが無謀だと
勇敢な少年の悲惨な結末を嘆いた

しかし少年は
人の身では有り得ぬ程の膨大な魔力
によって
全てを薙ぎ払い、魔王を討ち果たした
彼こそは運命に選ばれし
甚大な力と魔を討ち滅ぼす命を授かった
「伝説の勇者」であった

勇者によって民は救われたが…
少年には未だ勇者としての
使命が残っていた

この森深くにひっそりと佇む
「繁栄の祠」において…





女神まんこの
一番奥♡♡♡
濃厚精液
注がれてる♡♡♡

赤ちゃんの
お部屋♡♡♡
精子で犯されて
イグ♡♡

なんてこと…
人間などに…
女神である
私…の…

最も…
…神聖な…
領域…
…を…



なッ♡♡♡
なんでえッ♡
もうッ♡
いっぱい♡

射精♡♡
したのに♡

バチッ♡

おっさん♡



おッ♡♡♡
奥♡♡♡
子宮どちゃどちゃ
殴られてる♡♡♡

メスを♡
完全に♡
墮とそうと♡
してるッ♡

どちゃ♡

どちゃ♡

どちゃ♡



射精♡♡♡
また来てる♡♡♡

自分の所有物に
マーキング♡♡♡
わからせ射精♡♡♡
されてりゅ♡♡♡





おッ♡
母乳でりゅ♡
子宮に射精♡
され過ぎて♡♡♡

めいみき♡

すき♡

けっこん♡

完全に身体が
赤ちゃん育てる
準備しちゃってる♡♡♡♡

だん♡♡

びゅっ♡

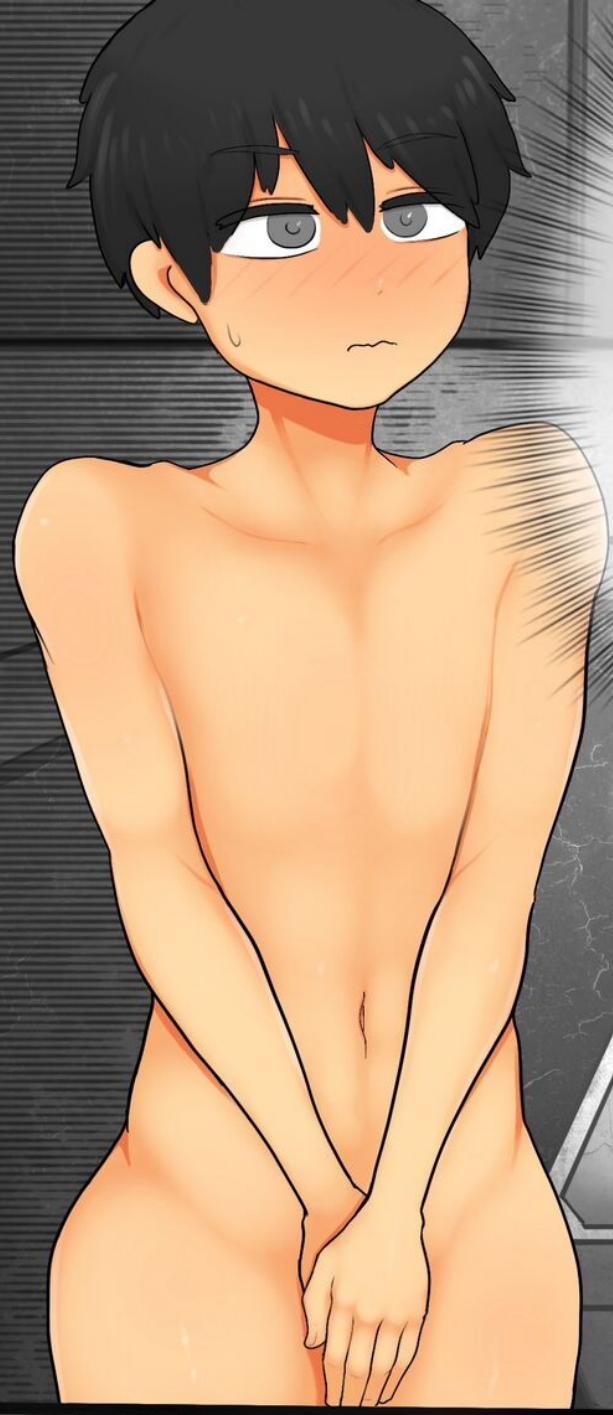
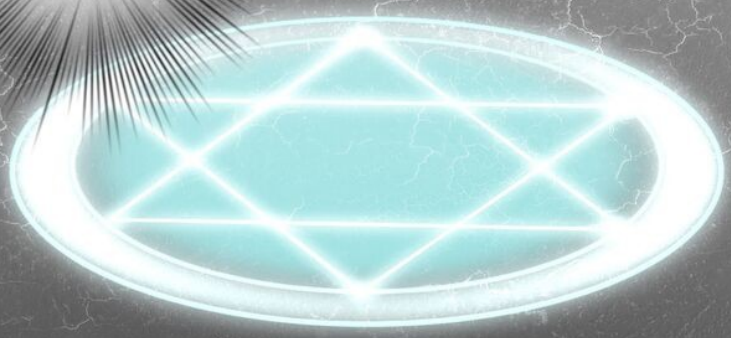
びゅっ♡

びゅっ♡

びゅっ♡

全裸にて…

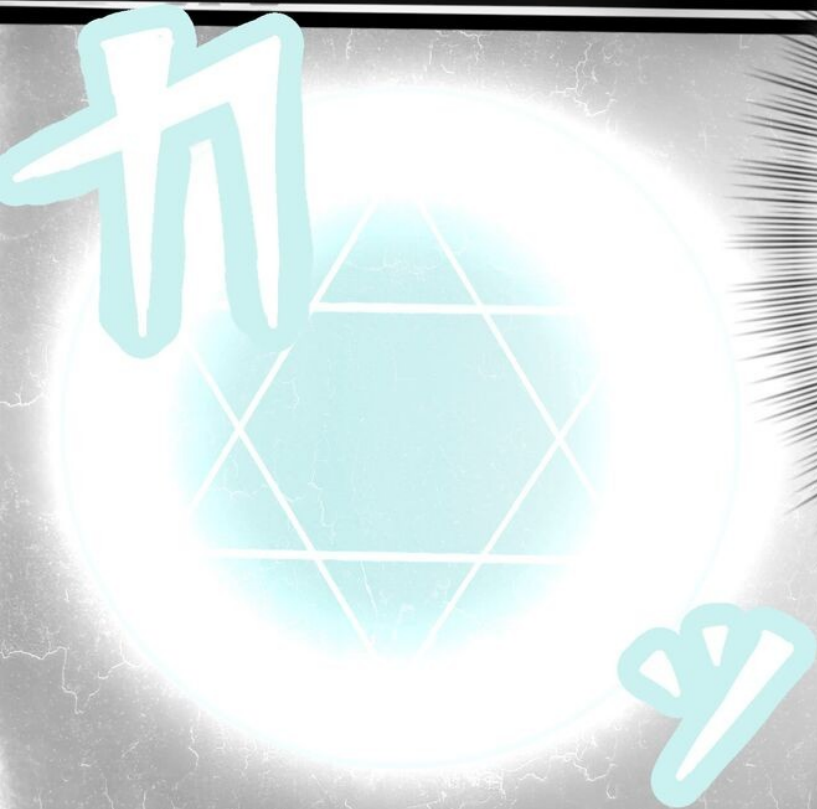
「糸まとわぬ姿にて
繁栄の祠に踏み入れよ」



それがおまえに
下した天啓…



!?





下命を守り
よく来ましたね
…勇者よ

私は繁栄の女神

貴方に最後の力と
使命を授ける者



ス
ウ

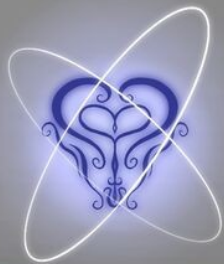
これは「繁栄の印」
人間達の中でも
限られた者だけ…

その種を蒔くべきと
認められた者にのみ
許された力

類稀なる魔を討つ
「勇者の血」を
絶やさず受け
継がせてゆく為の力

さあ…今 おまえに
授けましょう…

ホウ…



?

フ…

その印の力は
持ち主の：

おまえの中に眠る
真の精力を
呼び覚まし
更に倍化させます

陰茎は肥大化し
陰囊からは
精がとめどなく
湧き出づる

流石は勇者
やはり見事な素質：
たくましい「雄」を
持っていますね

今のおまえに
満足させられぬ雌など
存在しないでしょう

あーッ

ゾク

ゾク

ボウ

ビクッ♡

ビク♡

ゾク
ゾク♡

ビク

キッ♡

バク♡

ビキ♡

これで「繁栄の印」の
力が授かりました…

これによって今度は
おまえが「押印」する力を
手に入れたのです

この力によって
押印された「雌」は
即座に発情、排卵…
「孕む身体」と成る

さあ行きなさい…
勇者の血を絶やさぬ為
本能に従い「雌」に
種を植え付けるのです



おや…

どうやら素質が
高過ぎるのか…
印の力が効き過ぎていて
少々混乱している
ようです

あろうことか
女神であるこの私を
唯の「雌」と
見做すとは…

…甚大なる力を持つ
私達 神々が魔族共に
直接手を下さぬのは
穢れを避ける為

へた…

その為に
おまえ達人間に
魔を退ける力を
貸しているに
過ぎない…

まあ…おまえが
人の身では有り得ぬ程の
膨大な魔力でも持っていれば
話は別ですが

女神である私に
魔力で敵う筈もない…
よってその押印の力も
私には及びませんよ

そんな馬鹿な事が
ある筈も無い：
人間であるおまえが

この私の力

モッ
ッ
ッ

ホッ
オ...



ふん
るん

だ
る
ん

バ
ッ
ッ